

評価部会

11月に学園各校が実施した、地域、保護者向け「学園アンケート」の集計を、お手伝いしました。各校による分析は学園通信3月号で紹介されます。CS委員会でもアンケート結果に注目して、みなさんからの声が次年度の教育に活かされるよう、学校評価に協力していきたいと思えます。

コーディネート部会

●サポート隊活動依頼の発信

三鷹市教育委員会にお願していたサポート隊募集のメール配信システム「学習ボランティア募集システム」が開発されました。現在大沢台小学校の2年生の算数サポート隊登録の方々にご協力をいただき、テスト配信を行っております。テスト配信については、羽沢小学校、第七中学校のサポート隊登録の方々へもご協力をお願いし、多くの気づきや意見・要望をまとめ、今後の本格始動に向けて、教育委員会と相談しつつ、円滑な学校支援の運営をしていきたいと思えます。

●漢字検定・数学検定

おおさわ学園の児童・生徒のチャレンジの場として、「数学・算数検定」と「漢字検定」を実施しました。

〈数学・算数検定〉 8月26日(土)大沢コミュニティセンターにて、
受検者 中学生15名、小学生52名で実施しました。

〈漢字検定〉 10月20日(金)第七中、大沢台小、羽沢小にて、
受検者 中学生28名、小学生95名で実施しました。

広報部会

大沢の里秋まつりで、広報活動をいたしました。今後は、HPの充実を図り、CSの情報をより早くお伝えすることができるよう努力していきます。

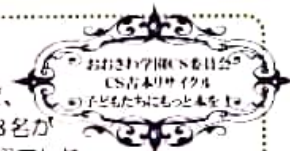
おおさわ学園のホームページ <http://mitaka-schools.jp/ohsawa/index.html>

おおさわ学園 CS 古本リサイクル活動報告

CS古本市～大沢の里秋まつりに参加させていただきました

11月3日、七中の「トンネル」(正門から校庭に抜ける通路)で、CS古本市を開催しました。今年は七中図書委員会から過去最多の8名がボランティアとして参加、本の購入、宣伝、販売から撤収まで大活躍でした。

まだひかひかの100円の絵本、ちょっとくたびれた10円の絵本、50円の児童書、一般書、問題集、20円の文庫本などなど、大勢の方に手にとりいただきました。当日、大事そうに持ち込まれたCD本セットにも、新しい持ち主が現れて本当によかったです。「今年も来ました!」となつかしい再会もある、うれしいお祭りでした。コミュニティ紙「おおさわ」やPTAのお手紙、本紙「CSだより」などに気づいて、各校の図書館地域開放に本を持ち寄ってくださったみなさま、古本市に足を運んでくださったみなさま、ありがとうございました。



<http://mitaka-schools.jp/ohsawa/index.html> おおさわ学園HPから「地域・家庭」タグをクリック!



おおさわ学園コミュニティ・スクールだより

～学園と保護者と地域の連携を深めるために～



特集 地域人材発掘!今、学校でどういった人材が必要とされているのか?

おおさわ学園CSキャラクター「さわっち」

おおさわ学園10年目を迎えて

おおさわ学園副学園長 大沢台小学校校長 高橋 奨

おおさわ学園は、皆様ご存じのように、平成20年度開園し、今年度はちょうど開園10年目の年に当たります。

私は開園7年目の平成26年度に本校に着任し、おおさわ学園CS委員会の一員となりましたが、CS委員会は、既に現在と変わらぬ、「協議」と「支援」という確固たる体制ができ上がっておりまして、現在は、まさにこの体制を基盤とした学園・学校運営を、校長としてスムーズに行うことができいております。

10年前にゼロからこのCS委員会の立ち上げにかかわり、現在の確固たる体制を創り上げた方々の功績は、言葉では言い尽くせないくらい多大なものと言わざるを得ません

今後は、この体制をさらに充実・発展させていくために、何ができるかを一緒に考えていきたいと思っています。まずは、CS委員会の活動を、この「CSだより」も含め、もっと「見える化」してPRしていきたいと思っています。

「CS」と聞いたら、誰もが、「衛星放送」ではなく、「コンビニ」ではなく、「野球のプレーオフ制」ではなく、真っ先に「コミュニティ・スクール」とイメージできるよう、日々本校の活動の中に、当たり前のように組み込んでいけたらと思っています。



おおさわ学園コミュニティ・スクール委員会

おおさわ学園副学園長 三鷹市立羽沢小学校校長 亀山 桂子

おおさわ学園のコミュニティ・スクール委員会の特長は、より地域とのつながりが深いということでしょうか。大沢地区は、国立天文台や野川などがあり自然に恵まれた地域です。5年生の野川でのメダカ捕りには地域の方に先生になっていただきメダカの生態や飼育方を教えていただきました。数学・算数検定や漢字検定もCS委員会がサポートの力をお借りして実施し、子供たちの学力向上に役立っています。

このように様々な教育活動に地域の方々の協力がいただけるよう人材をつなげていただいています。夏休みの終わりに開催した「先生方とCS委員の懇談会」を受けて、10月のCS委員会で熟議を行い地域人材の発掘に向けて新たな一歩を踏み出しました。

おおさわ学園も小・中一貫教育校、コミュニティ・スクールとして10年という節目を迎えます。平成30年度には、連携、東三鷹学園とともに11月17日に学園開園10周年記念式典を挙げてまいります。それに向けて今年度末から学園の中で組織を立ち上げ準備を進めていきます。

少子・高齢化が進む中、地域の力を教育につなげていくことが、地域の活性化、社会の発展につながると思っています。さらに地域の皆様が、10年目を迎えた「おおさわ学園」の教育活動にかかわっていただけるよう努力を積み重ねていきます。

